

かけはし

【特集】人工関節センター

安心して手術を受けて
いただくために

人工関節センター

18



がんになんでも
自分らしく生きるために
chap—03 がん治療中の仕事の悩みをサポート

地域連携医療の絆

インフォメーション

地域の未来をみつめて—vol.03 認定看護師の派遣事業

かけはしの特集やバックナンバーが
ウェブサイトから見られます！

<https://www.fukui-saiseikai.com/about/magazine/>


Report
Corporate
Social
Responsibility

2017年
9月
vol.90

ご自由にお持ちください



福井市内の医療機関で実施した、救急看護認定看護師による心肺蘇生の講習。
看護師や栄養士、レントゲン技師らに、心臓マッサージの行い方やAEDの使用方法を学んでいただきました。

当院では、熟練した看護の「技術」と「知識」を持つ認定看護師（2017年9月現在、32人が施設や医療機関へ出向く派遣事業を行っています。地域の医師や看護師をはじめとする多職種のスタッフと、より専門的な知識や技術を共有し、在宅医療を支援しています。）

始まりは2010年、当院の皮膚・排泄ケア認定看護師が、ストーマをつけた患者さんが退院後も当院内と同じケアを受けられるよう、連携先のクリニックでストーマ外来を開設したことでした。クリニックの医師や看護師と一緒に説明やケアを行うことで、患者さんは安心して地元で療養でき、またクリニック側も最新の知識や技術を習得できたと喜ばれました。

これをきっかけに、当院は県内に先駆けて、本格的に全分野での認定看護師による地域派遣の取り組みをスタート。今では施設や訪問看護ステーション等へ、現場スタッフに向けた勉強会や看護ケアの実践指導に出向いています。また医療機関に限らず、健診センターの各種健康教室、専門資格を持った職員による院外での心肺蘇生講習会など、地域に暮らす人たちへの働きかけも積極的に行ってています。当院はこれからも急性期病院として、誰もが安心して暮らせる地域医療の一翼を担つてまいります。

住み慣れた地域で自分らしく療養を続けたけれど、在宅で十分な医療ケアが受けられるのだろうか—という不安を抱えている人は少なくありません。

当院では、熟練した看護の「技術」と「知識」を持つ認定看護師（2017年9月現在、32人が施設や医療機関へ出向く派遣事業を行っています。地域の医師や看護師をはじめとする多職種のスタッフと、より専門的な知識や技術を共有し、在宅医療を支援しています。）

地域の未来をみつめて

— vol.03

認定看護師の派遣事業

県内の大規模病院では唯一の社会福祉法人である当院が、「済生の心」を胸に地域の未来を見つめ、地域の皆さんとともに取り組む活動（CSR活動）をご紹介していきます。

かけはし vol.90 2017年9月

発行 福井県済生会病院

〒918-8503 福井市和田中町舟橋7番地1

TEL: 0776(23)1111 (代)

[責任者] 笠原善郎 [編集] 経営企画室

センター開設

特集

FEATURE

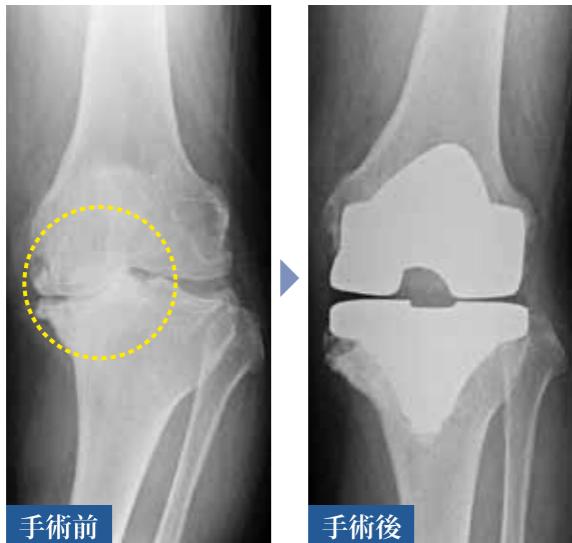
人工関節センター

安心して手術を

受けていただくために

[図1]人工関節手術の症例写真

●膝関節



軟骨がすり減り、内反変形(O脚)になっている。

●股関節



軟骨がすり減り、骨頭が変形している。

膝と股関節の疾患

加齢などにより悪化

人工関節手術の部位別の割合をみると、膝と股関節で95%以上を占めています。

膝関節では、表面の軟骨がクツショソとなり関節をスムーズに動かす役割を担っていますが、加齢による変化に体重増加や重労働による膝への負担が加わり、徐々に軟骨がすり減ります。その結果、関節が変形し、痛みなどの症状が現れます。60歳以上では女性の4割にみられ、高齢になるとつれて割合はさらに増加します。

一方股関節は、先天性股関節脱臼や白蓋形成不全など先天的な要因に加齢による悪化が加わり変形性関節症を発症する患者さんが多くになります。変形の状態、年齢、患者さんの仕事や家庭の事情などを考慮して治療を進めていきます。

「痛みはないが手術が必要」「痛みは強いが保存的治療で改善が見込めます」など、痛みの程度だけでは治療法の判断が難しいことがあります。まずはかかりつけ医を受診され、手術が必要といわれた場合には紹介状をご持参いただくか、お電話で当センターにご相談ください。

高齢化社会を迎え、変形性関節症や関節リウマチ、骨粗しきょう症などから起こる膝・股関節疾患の増加に伴って、人工関節手術を受けられる方は年々増えています。もちろん、大部分の人は薬物治療や運動療法などの保存的治療で症状が改善することが多いと思われます。しかし、不幸にも関節の変形が高度で痛みが強い場合には、人工関節置換手術など各種手術が必要となります。

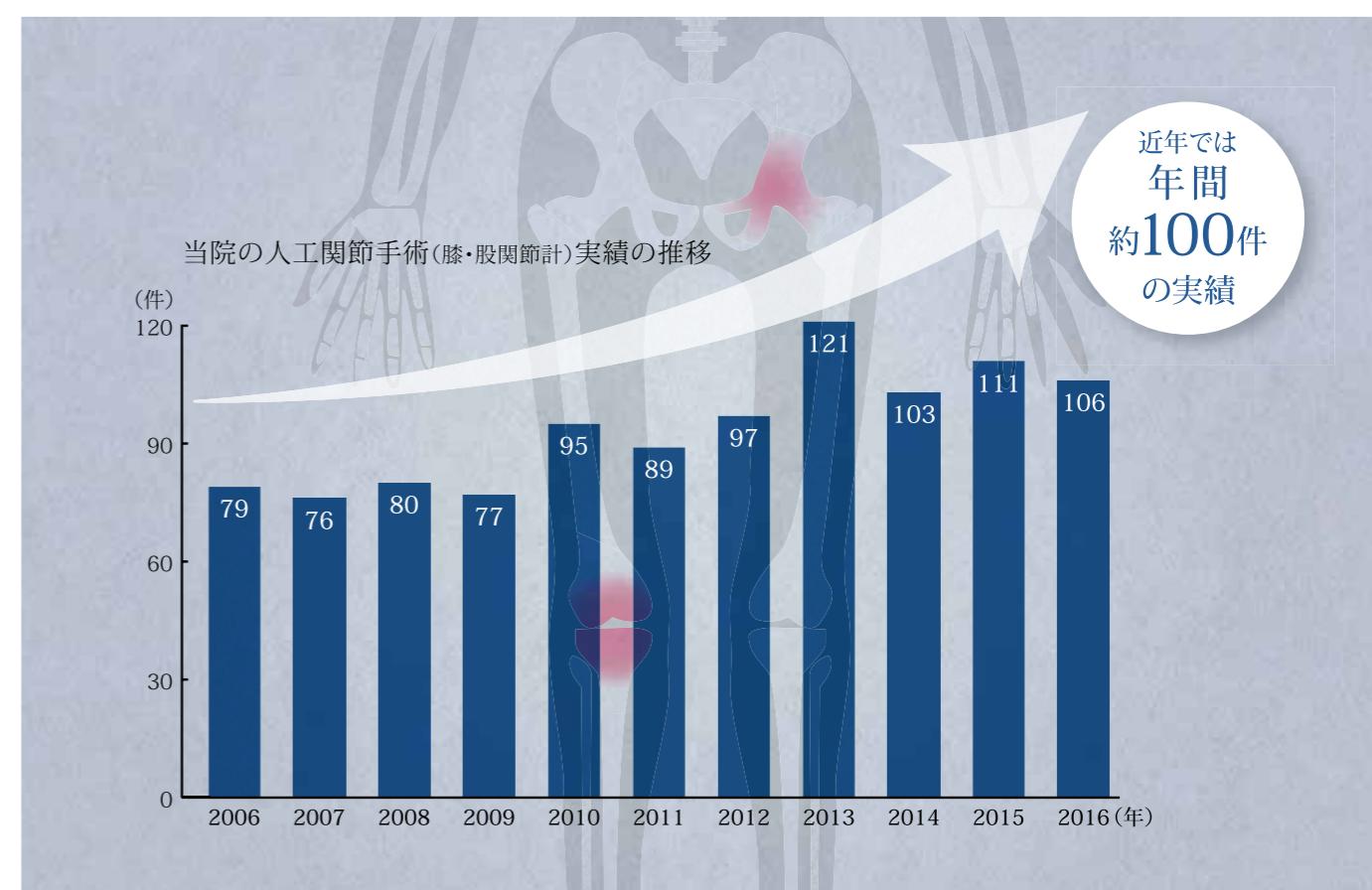
(図1)

当院では従来より、膝・股関節外科外来で専門的な治療を行ってきました。2016年度は人工膝関節置換術65件、人工股関節置換術41件と、年間約100件の手術実績があります。

ただその中で、人工関節について不安や誤解があるケースも見受けられました。そこで、人工関節を正しくご理解いただき、安心して治療を受けていたただくことを目的に当センターを立ち上げました。人工関節について丁寧にメリット・デメリットをご説明し、最適な治療法を提案しています。

高齢化が進み、膝・股関節疾患を抱える患者さんは増加傾向にあります。

当院では今年8月より、人工関節を必要とする方を専門的に診る「人工関節センター」を開設。各専門スタッフが一丸となった「チーム医療」で、手術前の説明やりハビリの指導を行い、患者さんを支援しています。





人工関節センター
センター長
整形外科主任部長
五之治 行雄 医師

人工関節に関するQ&A

- Q.** 手術の対象になるのは、どういった人ですか？
A. 痛みの程度だけでは判断ができません。レントゲンで高度な変形を認める末期の関節症で、日常生活に支障を感じている人が対象となります。
- Q.** 人工関節は一生入れたままですか？
A. 当院では、1年に1回程度、定期的な状態チェックを行い、悪い徵候が現れた場合には入れ替えの手術が必要なこともあります。術後10年で再手術が必要となるケースは、わずか数%で、半数以上の人のが30年以上問題なく過ごしています。
- Q.** 手術後の日常生活での注意点は？
A. 股関節の場合は、脱臼にご注意ください。脱臼を防ぐ姿勢や生活習慣を、リハビリの中でアドバイスしています。また、過度な運動を控え、体重を増やさないなどの自己管理が大切です。
- Q.** 手術費用はどれくらいですか？
A. 年齢と収入によって負担額は異なり、また保険の改正によっても変動します。よろず相談外来にて詳しく説明いたしますので、お気軽にご相談ください。

センター長である五之治行雄医師に、患者さんへのメッセージを伺いました。

がんなどの直接生命に関わる病気と違い、人工関節に関しては「早期発見・早期治療」という考えは必ずしもあてはまりません。レントゲンの結果が悪いのに日常生活に差し支えない方もいれば、その逆もあります。手術になるか否かの決め手は、レントゲンの結果と自

覚している痛みや機能障害が一致していることです。そのような患者さんが人工関節手術を受けることで日常生活動作が改善し、多くの方に喜んでいただいています。今後も、入院前から退院後まで、医師や看護師、理学療法士などからなる「人工関節チーム」が、患者さんお一人おきめ細かくサポートし、満足していただけるよう努めています。



人工関節を考えられている方、
お気軽にご相談ください。

診察日／毎週火曜 午後：五之治 行雄 センター長
毎週木曜 午前：稻谷 弘幸 整形外科医長
場所／本館2階 Fブロック（整形外科外来）
予約・お問い合わせ／
整形外科外来 0776-23-1111(代)

人工関節センターは
紹介制／完全予約制です。

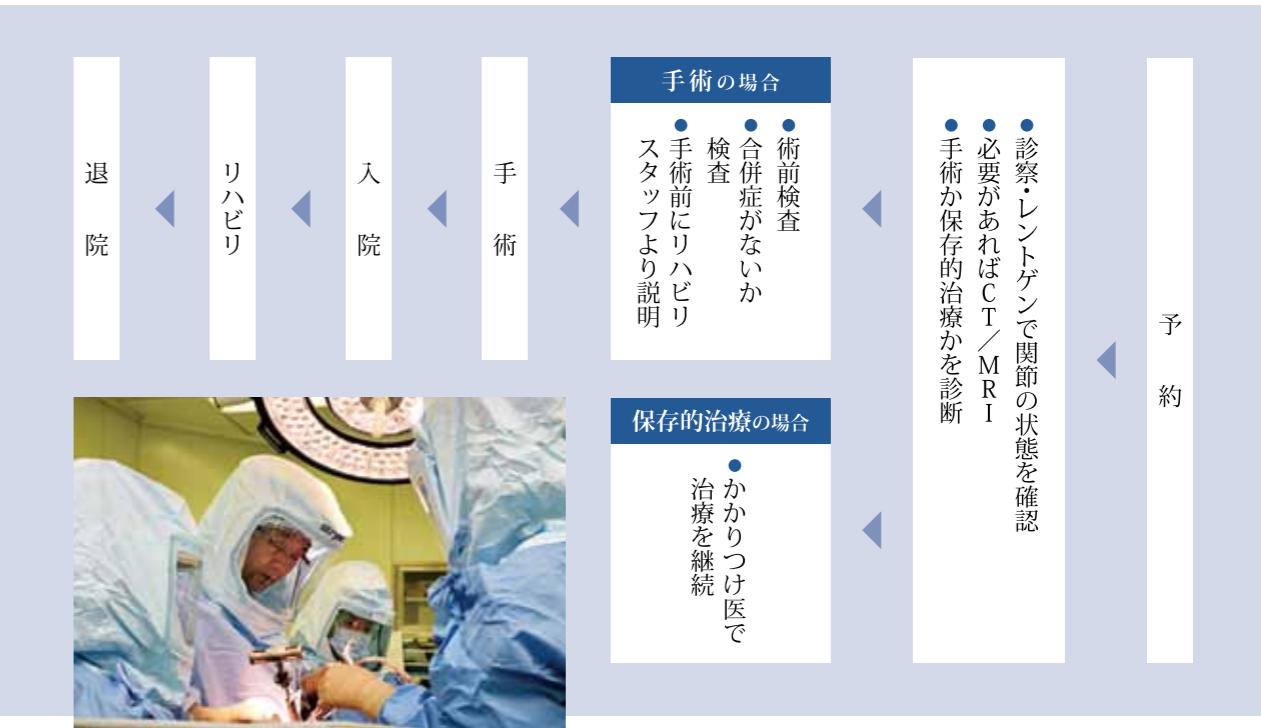
▶もっと詳しく知りたい方は
ホームページへ

福井県済生会病院 人工関節センター



検索

[図2]治療の流れ



無菌服を着用し、クリーンルームで行う手術

施術の際の注意点

不安・疑問に寄り添つてチームで患者さんを支援治療の流れとしては、まずレントゲンで関節の状態を確認し、必要があればCTやMRIを行い、手術的治療か保存的治療かを決定します。

手術となつた場合、術前の検査を行いますが、糖尿病や肺・心臓等の病氣があると、手術後に重篤な症状が現れることがあります。当院は総合病院の利点を生かし、手術に影響するような病氣がある患者さんは専門科の医師と連携して、まずはその治療をしてから安心して人工関節手術に臨んでいただいています。

手術前日には、理学療法士よりリハビリテーションの重要性と手術当日からのリハビリについて説明します。手術直後は当然ながら痛みはありますが、特に膝の場合、手術後約1週間で膝の曲がりがほぼ決まってしまうため、早期のリハビリがとても重要となります。

また、術後すぐにリハビリを開始することで「エコノミークラス症」になります。「地域包括ケア病棟」に移つて、退院に向けた支援を行います。退院後の生活に不安のある方にも、スタッフが寄り添つてご相談に応じ、安心して退院できる体制を整えています。



リハビリ風景

候群（下肢静脈血栓症）の防止にもつながることをご理解ください。
手術は、感染を防ぐため、無菌服（宇宙服のような特殊な手術服）を着用し、クリーンルームで行っています（上写真）。傷口は皮下縫合

を行いますが、糖尿病や肺・心臓等の病氣があると、手術後に重篤な症状が現れることがあります。当院は総合病院の利点を生かし、手術に影響するような病氣がある患者さんは専門科の医師と連携して、まずはその治療をしてから安心して人工関節手術に臨んでいただいています。

入院は約3週間で、約10日後から「地域包括ケア病棟」に移ります。退院に向けた支援を行います。退院後の生活に不安のある方にも、スタッフが寄り添つてご相談に応じ、安心して退院できる体制を整えています。

がん治療中の仕事の悩みをサポート



A子さん(40代)
気になる症状があり検査を受けたところ、がんを宣告される。治療や薬、家族、仕事など不安が山積。

「治療は順調」と先生から言われてひと安心。
気持ちも落ち着いてきたので、
そろそろ仕事について考えたいな。
治療をしながら働くのって大変かしら？

地域がん診療拠点病院
集学的がん診療センター
Multidisciplinary Cancer Care Center
がん相談支援センター 緩和ケアセンター
Cancer Care Consultation Center Palliative Care Center

福井県肝疾患診療連携拠点病院
肝疾患センター
Liver Disease Care Center
肝疾患相談支援室
Liver Disease Care Consultation

がん患者さんの就労支援に関するご案内

働き方も“自分らしさ”的要素の一つです

がんと診断され気持ちが落ち込んでいる時期には、すぐに退職を考えられる方も多くおられます。仕事を続けていても、身体的・心理的・経済的な悩みで立ち止まってしまうことも。当院の「がん相談支援センター」では、関係機関と連携し、患者さんがやりたいこと・できることを考慮した就労支援を行っています。体調や治療計画まで考えた支援は、医療機関だからこそできることです。

相談票できめ細かな支援

相談票には、希望条件や資格に加え、治療の状況や働く上で配慮すべき点などを記載し、情報を共有しています。
(相談内容が第三者に伝わることはありません)

希望条件
・資格

治療・体の状態など

まずはお気軽にご相談ください！

治療の内容を理解しスケジュールが分かると、できることが明確になります。働き方を考えてからの決断でも、遅くはありません。当院では、仕事の継続を希望される方や再就職を目指される方に、ご自身の治療の状況やこれまでの経験を生かせるよう支援しています。また、仕事のペースや職場への病気の伝え方など、実際に働く上でのお悩みにも対応。県内でも、がん患者さんの就労に理解のある事業所も増えてきました。医療機関、地域、職場が連携して、両立に向けての様々な活動や仕組みづくりが行われています。

集学的がん診療センター
マネージャー 吉川千恵

がん患者さんが働く上で困ったこと悩んでいること

- 仕事と治療の両立の仕方
- 気持ちの持ち方
- 生活費・治療費などの経済面
- 仕事復帰の時期
- 仕事の継続・復帰に向けての準備の仕方
- 繼続・復帰後の仕事の仕方
- 職場の人間関係

(市民公開講座アンケートより)

出張相談を行っています！

※必要に応じて個室にて対応致します

ハローワーク福井

長期療養が必要となる「支援対象者」の方に向けた転職・再就職の相談窓口です。「ハローワーク福井 専門援助部門」の就職支援ナビゲーターが、就労に関するご相談を伺い、一般的の求人から病状や体力にあった仕事を一緒に探していきます。

● 日 時／毎月第1金曜日 13:00～15:00
第3金曜日 14:30～15:30

● 場 所／本館1階正面玄関前 総合サービスカウンター

● 料 金／無料

福井産業保健総合支援センター

今の仕事を続けたい方向けの窓口です。両立支援促進員(社会保険労務士)が、治療と仕事の両立に関するご相談をお伺いします。ご自身の認識と実際の就業規則のギャップを埋めながら最適な方法をご提案し、前進のお手伝いをします。また、各種制度のご相談もお受けしています。

● 日 時／毎月第2金曜日 10:00～13:00

● 場 所／本館1階正面玄関前 総合サービスカウンター

● 料 金／無料

次号は、がん治療に伴う外見の変化のケアについてお話しします。

今の時代、がんになっても色々な支援を利用して働くことができるのね。
相談できる人がいるのは心強いわ。
私らしく生きられるよう、治療も仕事もがんばろう！

福井市

喜ばれることに喜びを

いわた歯科クリニック

[一般歯科、小児歯科、矯正歯科、口腔外科]

院長 岩田 圭一郎

直接向き合う時間を大切にし
地域に笑顔を広げたい

開院から約1年、親身なホスピタリティーで“安心できる歯医者さん”を目指して、細やかな気配りを行き届かせています。まず心がけたのは、通いやすいクリニックづくり。覚悟を決めて“病院に行く”のではなく、エステ感覚で“歯の掃除に行く”ところを目指し、診療空間でありながらカフェのような心地よさを実現させました。また、患者さんの心身の負担ができるだけ軽くできるよう、最新の医療機器を用いた丁寧で適切な治療を進めています。ライフステージによって、ケアの仕方や注意点は少しづつ変わります。長く自分の歯が使えるように、一緒にお手入れていきましょう。

福井市森田新保町3-26-1
TEL. 0776-56-4418

[診療時間]

平日 9:00~13:00 / 14:30~18:30
土曜 9:30~13:00 / 14:30~18:00

[休診日]

水曜、日曜・祝日

[京福バス]
定重バス停下車 徒歩約7分

越前市

痛くない、抜かない治療を目指して

みずたに歯科クリニック

[歯科、小児歯科、口腔外科]

院長 水谷 ひろき
大樹

20年後、30年後の「良かった」のために

地元の幅広い年代の方々にご来院いただいている当院は、今年4月にオープン。『如己愛人(己の如く人を愛する)』を理念とし、常に「自分だったら…」を念頭にスタッフ一同診療にあたっています。その中で、カウンセリングは患者さんだけでなく私達にも大切な時間。今までの治療や通院で困ったこと、怖かったことなど、きちんとお話を聞きし、言葉の奥にある心を診ながら診療することが大切だと感じています。仕事や他の病気との兼ね合いでコンスタントな治療が難しい方にも、できるだけ状況・症状に合わせた方法やスケジュールを提案しています。まずは、一度ご相談ください。

越前市長土呂町7-20-2

TEL. 0778-43-6480

[診療時間]

平日・土曜 9:00~12:30 / 14:00~18:00

[休診日]

水曜、日曜・祝日

[越前市市民バス]
長土呂停留所下車 徒歩約3分

あわら市

地域密着の診療所

藤田医院

[内科、消化器内科、呼吸器内科、小児科]

院長 藤田 よしつぐ
佳嗣地域とともに歩んできたからこそ
ネットワークを大切に

約80年に渡る地域医療の実績を生かして、主に坂井市・あわら市の皆さまの健康のお手伝いをしています。私は呼吸器科、院長は消化器科が専門ですが、それらをベースに、広く一般内科の診療に携わっています。坂井地区は、県内でも珍しい、医師会が在宅ケアネットを運営する地域ということもあり、当院でも先進的に在宅医療に取り組んできました。病状やニーズにあった適切な医療、介護が受けられるよう、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所やデイサービス、ヘルパーステーション等とスムーズに連携がとれるよう体制を整えています。不安やお困り事は、お気軽にご相談ください。

あわら市中番12-1

TEL. 0776-78-7133

[診療時間]

平日 8:30~12:00 / 14:00~18:00
土曜 9:00~12:00 / 14:00~16:00

[休診日]

木曜午後、日曜・祝日

[えちぜん鉄道]
本荘駅下車 徒歩約6分

福井市

地域医療を担える医療者に

舟津内科循環器科医院

[内科、循環器科]

院長 清水 し みず のぶしげ
信繁舟津先生の熱い思いを引き継ぎ
「病を見ずして病人を見る」医療を

ご縁あって、この4月1日より『舟津内科循環器科医院』を継承いたしました。舟津敏朗先生が約40年にわたって、この地域に貢献してきた実績は大変大きく、後継となれた喜びとともに重責も感じています。しかし、舟津先生が大切にしてこられた信念や医療方針は、私にとっても大切なものですので、一日も早く地域の皆さんから信頼していただけるよう、一意専心に努めています。

当院の患者さん達も高齢化が進み、通院が難しい方が増えています。今後は訪問診療にも重点を置き、より地域に密接した医療活動ができるよう尽力していくと考えています。

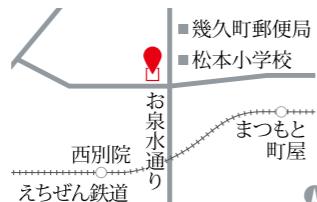
福井市文京1-29-6
TEL. 0776-27-0272

[診療時間]

平日 8:30~13:00 / 14:00~17:30
土曜 8:30~13:00

[休診日]

木曜・土曜午後、日曜・祝日

[えちぜん鉄道]
西別院駅、まつもと町屋駅下車
徒歩約7分



ご意見箱設置場所	
本館 1 階	・総合サービスカウンター横 ・内視鏡センター受付前 ・緩和ケア病棟 ・ヘアーサロン横休憩コーナー
本館 3 階	・家族待合室
東館 1 階	・東館玄関横

この度は貴重なご意見をありがとうございます。
本館1階の総合受付前患者待合ロビーに、受話音量を調節できる公衆電話があると、お年寄りや耳の不自由な人も使用しやすいと思います。
(外来通院患者さんより)

ご意見 Opinion Box

「音量調節機能付き公衆電話についてのご意見」

ヘレン・バンナーマン著 瑞雲舎

コラム
Column

「ちびくろ・さんぽ」

わたしの
おすすめの1冊

図書室で読んだ絵本でした。実はこの絵本は1988年に「黒人差別をなくす会」という私設団体の抗議を受けて、絶版になってしまったのですが、2005年から復刊となりベストセラーになっています。

ワクワクするさんぽ衣装のカラフルな色彩感と、虎の溶けたバターで焼いたホットケーキを何と169個も食べるという意外性と楽しさを味わつてください。ぜひ、お子さんやお孫さんにも読ませてあげてみてはいかがでしょうか。

副院長 宇野 英一

乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを伝えれるピンクリボン月間に合わせ、今年も院内でピンクリボンキヤンペーンを開催します。10月の1ヵ月間、来院された方々にピンクリボン・ツリーや展示パネルを設置するほか、病院の壁面や正面入り口、健診センターの装飾を行います。また期間中は、女性診療センターや健診セ

ンターのスタッフがピンクリボンPRのTシャツを着用します。
ご来院の際はぜひピンクリボンを結んでいただき、乳がんに対する理解や知識を深めていただければと思います。



【ピンクリボン・ツリー設置】
期間：～10月31日(火)まで
場所：本館1階
総合受付前ロビー

昨年の様子

10月はピンクリボン 月間です

ご案内 Announcement

ご案内 Announcement

“がん”を学ぼう！ 青少年のための がんセミナー開催

当院は青少年にがんの正しい知識を身につけていたり、「がん教育特別授業」で青少年のためのがんセミナーを開催します。中高生と保護者が対象で、医師による講演やがん経験者の

体験談のほか、お笑いタレントとがんについて語り合うシンポジウムを行います。命の尊さや患者さんを支える社会について、ご家族で考えてみませんか。

日 時／平成29年11月25日(土)
14時～17時
会 場／当院本館2階 研修講堂
対 象／県内の中・高生およびご家族、一般の方。
お申込み・お問い合わせ／
集学的がん診療センター「がん教育特別授業」係
TEL 0776-23-1111(代)



ご案内 Announcement

ご案内 Announcement